

2016年末、世界最大のCO<sub>2</sub>回収プラント（4,776t/d）が米国にて稼働開始

Petra Nova プロジェクトについて	
客先	Petra Nova社 NRGエネルギー社とJX石油開発（株）による出資比率50:50の合併会社
建設地	W.A.パリッシュ石炭火力発電所（8号機） アメリカ テキサス州ヒューストン近郊
CO <sub>2</sub> 用途	老朽油田からの原油増産（EOR）
CO <sub>2</sub> 回収量	4,776トン / 日 160万トン / 年
運転開始	2016年12月29日



- 石炭火力発電所の燃焼排ガスからCO<sub>2</sub> を効率的に回収するKM CDR™プロセスを採用した世界最大のCO<sub>2</sub> 回収プラント
- 現地建設会社（TIC社）とのコンソーシアムによる CO<sub>2</sub> 回収プラントのEPCフルターンキー契約

三菱造船、川崎汽船、日本海事協会と共同で

洋上用CO<sub>2</sub>回収装置実証試験“CC-Ocean”プロジェクトの実証を実施

- 国交省の海洋資源開発関連技術高度化研究開発事業の対象プロジェクト -

- ◆ CO<sub>2</sub>回収デモプラントを川崎汽船運航の東北電力向け石炭運搬船に搭載し、検証試験を実施
- ◆ 実公海での実証試験は世界初、操作性・安全性評価を通じ洋上におけるコンパクトなCO<sub>2</sub>回収システムの実用化へ



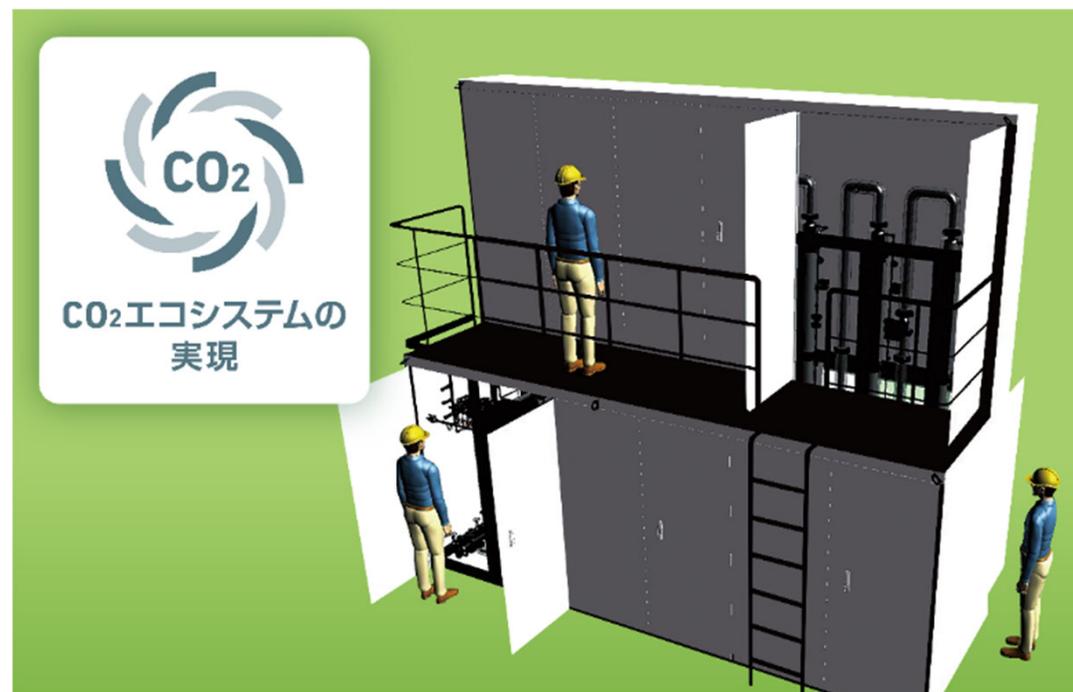
<https://www.mhi.com/jp/news/21080501.html>

## 太平電業（株）様向け小型CO<sub>2</sub>回収装置

(2021年12月1日当社プレスリリース)

広島市のバイオマス発電所向けに、商用としては初の小型CO<sub>2</sub>回収装置を受注  
MHIENG独自の回収技術を用いた設計標準化で、産業分野でも脱炭素化を促進

- 客先：太平電業株式会社
- 建設地：広島県広島市
- CO<sub>2</sub>排出源：バイオマス発電所からの排ガス
- CO<sub>2</sub>回収量：0.3トン/日
- CO<sub>2</sub>用途：農作物の育成

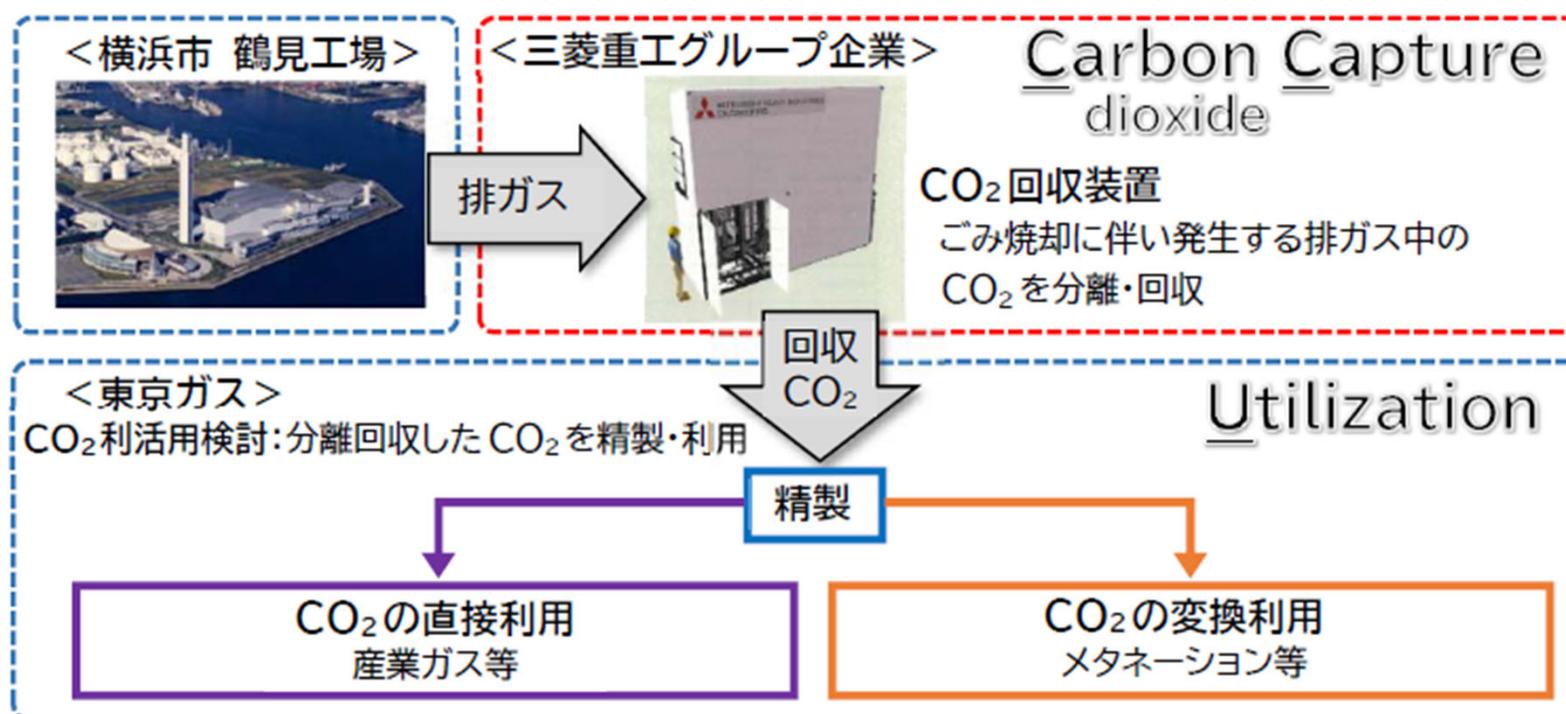


# 三菱重工のCO2回収技術のご紹介

## 横浜市様向け ごみ焼却/CO2回収/有効利用実証試験

ごみ焼却設備の排ガスからCO<sub>2</sub>分離・回収し、利用する実証試験を開始  
三菱重工グループのMHIENGとMHIECが横浜市、東京ガスと協働

- ◆ カーボンニュートラル社会の実現に向け4者の知見を融合、官民一体でCO<sub>2</sub>の循環利用を目指す
- ◆ MHIENGがCO<sub>2</sub>回収装置を設計・製作し、MHIECが装置の据付工事を実施
- ◆ ごみ焼却設備へのCO<sub>2</sub>回収装置適用で、事業機会の拡大を加速
- ◆ 分離回収したCO<sub>2</sub>の有効による炭素循環社会の実現



※1 三菱重工エンジニアリング株式会社、三菱重工環境・化学エンジニアリング株式会社

<https://www.mhi.com/jp/news/22022403.html>

※2 Carbon dioxide Capture and Utilization(二酸化炭素の分離・回収、利用)の略